

九条北小学校 校長室だより

NO.22 令和4年9月20日



この週末は、台風14号の影響を受けました。当初は、大型の台風ということで、いろいろ心配していましたが、途中より勢力が弱まり、幸い、大阪市には、大きな影響はなかったようです。連休明けの今日、児童たちは、いつもと同じように元気に登校してきました。



★ スクールカウンセラーによる教職員研修

「ヤングケアラー研修」を実施しました！ ★

9月2日（金）、スクールカウンセラーの先生より教職員対象に「ヤングケアラー研修」をしていただきました。「ヤングケアラー」・・・いろいろな所で話題になっていて、最近、よく耳にすることがあります。私たち大人に求められるのは、「いつでも相談しやすい関係づくり」のようです。



★ 「食物アレルギー研修会」を実施しました！ ★

9月12日（月）、全教職員で「食物アレルギー研修会」を実施しました。いつでも安心して安全な「学校給食」であるように、教職員で日々の動きの確認はしっかりとしています。今回は、「いざというときに・・・」慌てず対応できるように、緊急時の動きを「ロールプレイ」で確認しました。



★ 「敬老の日」に感謝の気持ちを伝えよう！ ★

昨日9月19日（月・祝）は「敬老の日」でした。

「敬老の日」の始まりは、兵庫県のある村で、1947年（昭和22年）9月15日に村主催の「敬老会」を開催したのが始まりであるとされています。これは、村長さんが「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨から開いたものだそうです。その後、「**多年にわたり(長い間)社会につくしてきた老人(ひと)を敬愛し(尊敬の気持ちと愛情をもって)、長寿(長生き)を祝う**」ことを目的として、昭和23年（1948年）に祝日法として制定されました。

実は、家族や身近な年長者を敬い、健康を願う日として、日本だけでなくアメリカやカナダ、中国、韓国などの国でも行われています。

さて、日本のお話に戻ります。敬老の日のお祝いでは、誰から誰にプレゼントをあげるということが決まっているものではありませんが、一般的には、孫から「おじいちゃん」「おばあちゃん」にプレゼントをあげることが多いようです。今からでも「**ありがとう**」の**ことばを贈ってはどうでしょうか。**

九条北小学校では、毎年、地域の敬老の日の行事に、児童が参加して、歌や合奏をプレゼントしていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ3年間は実施できませんでした。**せめて、地域の年長者の皆さんへ「感謝」や「お祝いの気持ち」を贈りたいですね。**

